

保健体育

保健体育科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて	
ア 知識及び技能	イ 思考力、判断力、表現力等
<体育分野> ・様々な運動を通し、体力や基礎的技能を高める。 ・基本動作の模倣力や洞察力を育む。 ・ルールの学習を通し、安全面の意識を高める。	<保健分野> ・自己の生活を振り返り、課題を見付けることができるようになる ・学習した知識を活用し、健康の保持増進にむけて活用できるようになる。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	・走る、跳ぶなどの基礎体力や様々な運動の基礎的技能を高めること。ア ・主体的に学習に取り組む姿勢に課題がある。ア	・スモールステップで学習を行い、基礎・基本の定着を図る。 ・基礎を活用した発展の学習を取り入れることで個人の目標を明確にする。ア	9～1月	
第2学年	・自己の心身の成長への気付き不十分であり、保健の授業を実生活に生かす実践力に課題があるイ ・定期テストや授業内の発問等に対する説明では、具体的な例を挙げたり、分かりやすく説明したりすることに課題がある。その他	・保健の学習内容を体育分野や体育理論で一層関連させて指導する。また、活用・実践の場を設ける。イ ・保健の学習で生徒同士での意見交換を活発にし、他者の意見を聞くことで理解を深める。イ	9～1月	
第3学年	・感覚的に運動を習得しようとする生徒が多く、技能のポイントを理解して課題解決的に学習に取り組むことに課題がある。ア	・グループで互いの活動の様子を観察することで技能のポイントや解決・改善方法見つけ、実践させる。ア	9～1月	

<p><b>■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</b></p> <p>1年→グループ学習等で、他者の観察を行う際に動画を撮影し、手本と見比べる。                  2年→他者の観察を行う際に動画を撮影し、ペアやグループで意見交換会を行う。                  3年→お互いに練習の様子を動画で撮影し、グループで解決方法を見つめ、実践する。</p>	<p><b>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</b></p> <p>1年→授業の開始時に示した「本時のポイント」を学習カードに記録し、振り返れるようにする。                  2年→本時のポイントを踏まえ、できたこと、分かったことを学習カードを活用し振り返る機会を設ける。                  3年→本時のポイントを踏まえ、できたことだけでなくできなかったことを明確にすることで、次回の目標を立てる機会を設ける。</p>
--	--